

令和六年度 夏季 鎌倉俳句&ハイク

期間 令和六年五月一日〜令和六年七月末

選者 星野椿、星野高士

投句数 一、四五一句

特選三句

天 日傘閉づ縁切り寺の小さき門

埼玉県川口市 高梨 孝

地 紫陽花や明月院にまた君と

神奈川県横浜市 井澤 信介

人 長谷寺に鎌倉ビールある至福

東京都稲城市 有野 安津

入選句

一般の部 (十五句)

雨を聴くあじさい寺の白昼夢

宮城県仙台市 阿部 みゆき

百咲いて今日百散って凌霄花

神奈川県横浜市 遠藤 清子

由比ガ浜入道雲がとけてゆく

東京都大田区 加古 彩里菜

尼寺に木魚の響く梅雨晴れ間

神奈川県横浜市 加藤 文男

夏社出づれば海へ風一つ

神奈川県横浜市 小泉 明彦

大仏や肩に炎帝軽々と

神奈川県横浜市 佐藤 満

五年ぶり鎌倉花火五万色

神奈川県鎌倉市 千石 正子

極楽とおぼしき風や谷戸涼し

神奈川県藤沢市 武 正義

沙羅の花落つるがままの廃寺かな

神奈川県横浜市 田阪 武夫

濃淡の紫陽花似合ふ虚子の墓

神奈川県横浜市 内藤 令子

千年の座禅の洞の炎暑かな

神奈川県茅ヶ崎市 能勢 伸子

江ノ電と並ぶ銀輪薄暑光

千葉県船橋市 馬渡 里枝

跳躍の次の構えや青蛙

神奈川県鎌倉市 山崎 俊定

小町にて色とりどりのかき氷

神奈川県横浜市 山下 重弥

泰山木咲き初むけふの海晴れて

埼玉県坂戸市 渡邊 俊一

子どもの部 (十五句)

あじさいが色とりどりに空を見る

神奈川県横浜市 小野里 美織

暑いけどにつこりほほえむお地藏さん

東京都文京区 吉永 美貴子

さざなみと共にたのしむ花火かな

神奈川県鎌倉市 鈴木 然

猛暑の日大仏影で安らぎを

山梨県北杜市 浅川 蒼

あめんぼうかがやく水面の上をまう

山梨県笛吹市 河野 咲希

寺のわき池にゆらゆら蓮の花

山梨県笛吹市 前島 蔵之助

葉桜や水流の音鳴り渡る

神奈川県鎌倉市 小見 拓登

めざましの音より早くせみの声

神奈川県鎌倉市 山川 薫

夏霧や隠れる富士を透かし見る

神奈川県鎌倉市 関澤 大弥

禅寺の静けさに咲く蓮華かな

神奈川県鎌倉市 柏木 隼悟

六人で登って降りて夏の山

東京都文京区 青木 結豊

鳥居越し由比ガ浜から南風

東京都文京区 土佐谷 律希

学生が神社で休む木下閣

千葉県市川市 石井 梨恩

坂くだり風をきりぬけ暑い夏

千葉県市川市 中山 武馬

仲間たち電車で眠る夏の暮

千葉県市川市 澤 なづ愛

(順不同)



鎌倉の四季折々を十七文字に・・・
鎌倉俳句&ハイク実行委員会
<https://www.kamakura-haiku.com/>
<事務局>
公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団内
〒247-0056 鎌倉市大船 6-1-2
TEL 0467(30)9237